

いわて若者応援会議

視察研修in気仙沼

地域の若者支援、人材育成は1つの組織だけでは完結せず、行政・民間など多様な主体が共通認識をもって取組むことが必要となります。本研修は実際に気仙沼市へ行き、担い手育成支援事業「ぬま大学」の取組みについて、官・民の視点、そして若者の視点から学んでいきます。

参加費
無料

日時

2026年 3月9日 月 定員：20名

会場：スクエアシップ (気仙沼市南町海岸1-11 2F まち・ひと・しごと交流プラザ)

対象者：若者と地域をつなぐ活動に関心がある個人・団体・NPO

若者の育成やまちづくりに関心のある大学・企業・行政・議員の方

お申込：以下のいずれかの方法でお申し込みください。【×切：3月5日(木)】

- ①右記QRコードを読み取り必要情報を記入の上、お申し込みください。
- ②件名を「いわて若者応援会議申込み」として「氏名、所属、連絡先（電話番号）」を記入の上、iwate.wakamonocafe@gmail.com宛てにメールでお申し込みください。



タイムスケジュール

講師

- 9:00 マリオス1階入口前 集合・出発
- 11:30 スクエアシップ到着
Act.1 スクエアシップ見学
- 12:00 昼食
- 13:00 Act.2 基調講演・質疑応答
…気仙沼市の担い手育成支援事業を行政・民間の視点からお話を伺う。
- 15:00 Act.3 若者の実践の場フィールドワーク
…担い手育成支援事業修了生の若者が取り組む実践活動の現場を視察
- 16:00 気仙沼市 出発
- 18:30 マリオス1階入口前 到着・解散



行政の視点から地域の人材育成を聴く

小野寺 憲一氏 (気仙沼市役所総務部長)

気仙沼市生まれ。東日本大震災後、震災対応として炊き出し、被災者の応急仮設住宅入居調整等の業務に当たる。2012年度から震災復興・企画課。地方創生も担当しており「気仙沼まち大学構想」等を実践中。



民間の視点から地域の人材育成を聴く

成宮 崇史氏 (認定NPO法人底上げ事務局長)

東日本大震災を契機に気仙沼市に入り、仲間とNPO法人底上げを設立。現在は高校生のプロジェクトのサポートを中心に、小中学校の探究学習コーディネーターや、市内の人材育成プラットフォーム事業にも携わる。



若者の視点から地域の人材育成を聴く

山中 千怜氏 (任意団体otonari/おとなり食堂)

気仙沼生まれで小中高を気仙沼で過ごす。コロナをきっかけに気仙沼へUターン。ぬま大学の7期を受講し、現在は、気仙沼市内の災害公営住宅のコミュニティスペースで「おとなり食堂」を開き、食を通じた地域の見守り・コミュニティづくりに励んでいる。

★盛岡⇄気仙沼間の送迎バスあり！



主催

岩手県環境生活部若者女性協働推進室

いわて若者カフェ事務局 (担当：川原)

岩手県盛岡市内丸11-2 岩手県公会堂地下

TEL：080-5743-2934

MAIL：iwate.wakamonocafe@gmail.com